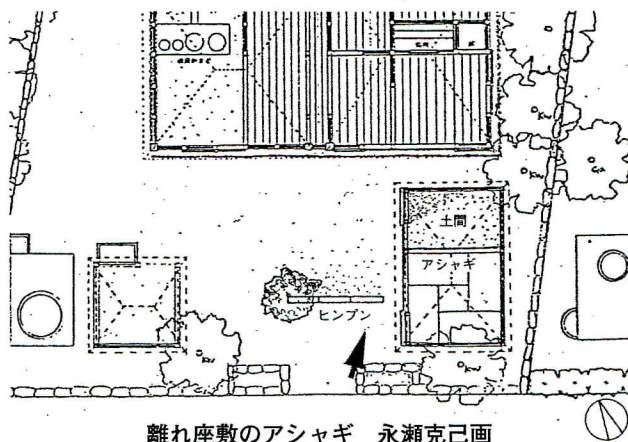
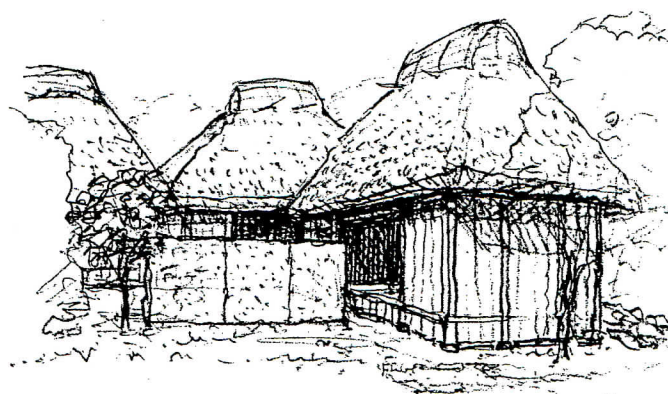


沖縄・よみがえる民家と集落



離れ座敷のアシャギ 永瀬克己画

永瀬克己

序

日本の最南端・沖縄は、高温多湿そして台風が常に襲う苛酷な気候条件下にあり、そこにある民家は、当然それに対して住み手のさまざまな工夫や叡知^{えいち}を集め、そこに潜^{ひそ}ませながら生き続けている。特に強風に対してはかなりの工夫がいる。風速40m以上をまともに受けたら、どんな家もひとたまりもない。そこでまず、肉厚の葉のびっしりと茂ったこの地方特有の「福木^{ふくぎ}」で屋敷の周囲を取り囲み、強風を減衰させる。屋敷林が切れているのは、出入口のある南側中央部のみである。そこには、風や視線を避けるように、一枚の壁が敷地境界から少し入った位置に象徴的に建っている。主屋の屋根は、さまざまな方向から吹く風を受け流すかのように、棟長の小さい、より正方形に近い形を成している。瓦下には厚く土を敷き瓦の重さとともに屋根に重量をもたせ、赤瓦^{しつくい}は漆喰でしっかりと留め、風による吹き上げに対処している。

それでも足りずに大地を掘り、敷地ごとそっくり沈めてしまった村が、那覇から東シナ海を50kmほど西にいった「渡名喜島^{となき}」である。屋根がアイ・レベルにくる家もあり、敷地の下がり方がわかる。屋敷林の切れ間からのぞく真っ白な屋根は、青空を背景に眼を射るばかりに輝いている。その白い屋根が連続するさまは、形は違うがエーゲ海のコノス島を連想させ、ことのほか美しい。濃い緑の屋敷林に挟まれた砂の細道は、格子状に村をはしり、同じような緑の谷を連続させる。外からくるものにとっては、まるでラビリンス(迷路)だ。しかし、森に迷い込んだようなそんな浮遊間隔がたまらない。

沖縄県では、先の第二次世界大戦によって、多くの町や村が消失した。今日、復興し、新しい都市へと発展したところも多いが、米軍施設として接収され、帰ることのできない人も多い。そうした集落の一つに、旧小湾集落^{こわん}がある。小湾の人たちは、戦後まもなく浦添市宮城^{みやぎ}に移住し、現在の小湾を建設した。海に面した砂丘の上に暮らしていた人々にとって、山の上の村づくりは想像以上に困難で、血のにじむような努力によって今日を得たといわれる。

宮城に移住した小湾の人たちは、現在でもかつての小湾の名称を守り、集落を前後に分割し、前島^{メージマ}、後島^{クシジマ}とよんでいる。しかし、実際の地名は宮城^{みやぎ}である。小湾の名は、現在の

沖縄の地図にはない。この失われた海辺の集落・小湾への望郷は増すばかりである。

1990年4月から旧小湾集落に住んでいた人たちが中心になって、「失われた小湾の姿を記録として後世に伝えよう」という活動が始まった。この活動に法政大学沖縄文化研究所が協力することになった。戦前戦中の生存者を中心とした聞き取りによる総合的な調査（社会・経済・言語・文学・民俗・建築等）である。建築班は、聞き取りによって民家や集落を復原記録することにある。記憶をどこまで正確に写し取れるのか、その方法はあるのか。多くの問題はあるが、取り組むことにした。

著者・永瀬 克己

目 次

序	3
 I 大地にもぐり込んだ村ー沖縄・渡名喜島の集落と民家の空間構成に関する研究ー ...	7
第1章 集落の道からの空間構成の考察	8
第2章 屋敷の形態	35
第3章 家づくりの工程	47
第4章 家づくりの部位別技法と仕口・継手	58
第5章 主屋の間取り	65
第6章 外部空間と付属屋	73
第7章 重要伝統的建造物群の保存修復に関する考察	79
 II 戦争で消えた村ー沖縄・小湾の民家と集落の復原に関する研究ー	89
第1章 民家の平面形の考察	90
第2章 民家の平面形の特徴と類型	98
第3章 民家の建築づくりと呼称	105
第4章 民家の中心としての仏壇	113
第5章 民家の座の空間構成	126
第6章 小集落形成の時系列的考察	134
第7章 収容所の生活空間から移住地へ	142
第8章 移住地での住まいづくりへ	155
第9章 戦後復興住宅と建築家仲座久雄	168
第10章 民家の移動と構造の史的考察	178

Ⅲ 作品集ー建築設計・デザイン・陶芸・その他ー	187
作品の紹介	188
第1章 建築設計	196
第2章 ポスター	212
第3章 表紙・扉絵デザイン	217
第4章 工業・商業デザイン、その他	225
第5章 陶芸・オブジェ	235
Ⅳ 業績・経歴	245
永瀬克己 業績・経歴	246
経歴	246
受賞	246
所属学会	247
書籍等出版物の執筆	247
研究・デザイン・設計等	249
論文・講演・発表・作品等	250
研究資金取得等の研究課題	260
その他の業績	260
1 東京都小金井市関係	260
2 東京都日野市関係	262
3 東京都東大和市関係	262
初出・原題一覧	264
編集にあたって	266

I 大地にもぐり込んだ村

—沖縄・渡名喜島の集落と民家の空間構成に関する研究—



渡名喜島の民家 永瀬克己画